

事業引継ぎ概要

半世紀近い社歴を誇る肥料製造業をかつてのれん分けした企業へ譲渡 若手経営者へバトンタッチし、会社の継続を実現

企業名（譲渡） 緑産業株式会社（大阪府大阪市）肥料製造業
企業名（譲受） 緑産業株式会社（山口県山口市）飼肥料の販売・輸出入
前経営者：林吉彦氏（87歳） 後継者：下永稔巳氏
引継ぎ時期：令和4年1月（株式譲渡）
支援方法：登録民間支援機関がバトンを活用して成約

調印式の様子

右から3番目が
林吉彦元代表取締役、
右から4番目が
下永稔巳氏



事業引継ぎの経緯と支援等



重ねた大阪府事業承継・引継ぎ支援センターへのご相談は 10回以上、同センターで調印式を開催

【当センターの直接支援（三次対応）開始】

- 相談開始当初、緑産業（株）（大阪市）の林社長はすでに85歳と高齢。後継者不在であったが、優良企業との取引と製造ノウハウを何としても引き継がなければならなかった。
- 第三者への引継ぎについて、方向性を模索するも、大手の取引先との調整について慎重に進めて行く必要があった。調整についての課題整理と助言を行うため、複数回、引継ぎ支援センターの常駐アドバイザーが同社を複数回訪問。

【当センターの二次対応開始】

- 本格的に相手探しを進める意志が固まり、当センターの二次対応を開始。登録民間支援機関3社と面談を開催し、1社とアドバイザー契約を締結した。
- 当支援センターと連携している民間M&Aプラットフォームにて相手探しを開始、当該プラットフォームのアドバイザーが、緑産業（株）（山口県）とのマッチングをサポートし、支援の画竜点睛として、今回の調印式を大阪商工会議所にて開催した。

林吉彦社長がセミナー出席をきっかけにして支援要請



【譲渡企業様の林様のコメント】

■ 1974年に設立し、約48年間やってきたこの会社で研究を重ね、開発した自社商品を下永様に引き継ぐ事ができた。後継者がいない事に悩んでいたが、大阪商工会議所・大阪府事業承継・引継ぎ支援センターには良い機会を頂き感謝している。

【譲受企業の下永様のコメント】

■ M&Aを検討した理由は更なる事業拡大のため。林社長が長年築き上げてきた商品開発力や取引先との関係性を維持していきたい。歴史ある会社なのでプレッシャーもあるが、林社長にバトンタッチして良かったと感じて頂けるように努めていきたい。

